



平成28年3月期 第2四半期決算短信〔日本基準〕（非連結）

平成27年11月10日
東

上場会社名 株式会社ホロン 上場取引所
コード番号 7748 URL <http://www.holon-ltd.co.jp>
代表者（役職名） 代表取締役社長（氏名） 新田 純
問合せ先責任者（役職名） 取締役総務部長（氏名） 菅野 明郎 (TEL) 04-2945-2951
四半期報告書提出予定日 平成27年11月13日 配当支払開始予定日 —
四半期決算補足説明資料作成の有無 : 無
四半期決算説明会開催の有無 : 無

(百万円未満切捨て)

1. 平成28年3月期第2四半期の業績（平成27年4月1日～平成27年9月30日）

(1) 経営成績(累計)

(%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
28年3月期第2四半期	494	△45.4	15	△89.4	7	△94.6	3	△97.6
27年3月期第2四半期	905	57.9	146	17.6	146	18.3	143	26.9
	1株当たり 四半期純利益		潜在株式調整後 1株当たり 四半期純利益					
	円 銭		円 銭					
28年3月期第2四半期	1.03		—					
27年3月期第2四半期	43.01		—					

(2) 財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率
	百万円	百万円	%
28年3月期第2四半期	1,811	859	47.5
27年3月期	1,738	856	49.3

(参考) 自己資本 28年3月期第2四半期 859百万円 27年3月期 856百万円

2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
27年3月期	—	0.00	—	0.00	0.00
28年3月期	—	0.00	—	—	—
28年3月期(予想)	—	—	—	0.00	0.00

(注) 直近に公表されている配当予想からの修正の有無 : 無

3. 平成28年3月期の業績予想（平成27年4月1日～平成28年3月31日）

当社の主力事業である製品事業では、装置1台あたりの販売価格が非常に高額なことから、得意先の検収のタイミングにより売上計上時期は大きく変動する可能性があります。従って、月次ごと及び四半期ごとの見通しは立てにくい状況にあるため、業績予想は当社の年間目標として通期のみ開示いたします。

(%表示は、対前期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		当期純利益		1株当たり 当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
通期	1,530	7.9	166	5.6	166	4.9	144	△46.5	43.10

(注) 直近に公表されている業績予想からの修正の有無 : 無

※ 注記事項

(1) 四半期財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 : 無

(2) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

- ① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 無
- ② ①以外の会計方針の変更 : 有
- ③ 会計上の見積りの変更 : 有
- ④ 修正再表示 : 無

(3) 発行済株式数（普通株式）

- ① 期末発行済株式数（自己株式を含む）
- ② 期末自己株式数
- ③ 期中平均株式数（四半期累計）

28年3月期2Q	3,340,500株	27年3月期	3,340,500株
28年3月期2Q	—株	27年3月期	—株
28年3月期2Q	3,340,500株	27年3月期2Q	3,340,500株

※ 四半期レビュー手続の実施状況に関する表示

この四半期決算短信は、金融商品取引法に基づく四半期レビューの手続きの対象外ではありますが、この四半期決算短信の開示時点において、四半期財務諸表に対する四半期レビュー手続は終了しております。

※ 業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、その達成を当社として約束する趣旨のものではありません。また、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。

○添付資料の目次

1. 当四半期決算に関する定性的情報	2
(1) 経営成績に関する説明	2
(2) 財政状態に関する説明	2
(3) 業績予想などの将来予測情報に関する説明	3
2. サマリー情報(注記事項)に関する事項	3
(1) 四半期財務諸表の作成に特有の会計処理の適用	3
(2) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示	3
3. 継続企業の前提に関する重要事象等	3
4. 四半期財務諸表	4
(1) 四半期貸借対照表	4
(2) 四半期損益計算書	5
(3) 四半期キャッシュ・フロー計算書	6
(4) 四半期財務諸表に関する注記事項	7
(継続企業の前提に関する注記)	7
(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)	7

1. 当四半期決算に関する定性的情報

(1) 経営成績に関する説明

当第2四半期累計期間におけるわが国経済は、中国経済の減速懸念を背景に株安・円高が起り、金融市場に混乱をきたしました。景気は緩やかな回復基調を維持しているというものの、2015年4～6月の国内総生産（GDP）は前期比減となり、これまでの回復基調に弱さが見られました。

半導体産業におきましては、高機能スマートフォン（スマホ）全体の市場は拡大から鈍化へ、さらにパソコン販売の低迷等で設備投資を縮小する企業が見受けられます。その反面、高機能スマートフォンへの半導体メモリー（DRAMやNAND型フラッシュ）の搭載量は増え、好調を維持する企業もあり、また最先端技術によるさらなる微細化（10nm）への試作ライン投資や3D-NANDフラッシュ・メモリのようにならな製造方法によるサンプル出荷も開始されております。

このような状況のもと、当第2四半期累計期間におきましては、フォトマスク上の欠陥をレビューし元素分析する「LEXa（レグザ）」を出荷し、計画どおり推移しております。

上記の結果、売上高は494百万円（前年同四半期比45.4%減）となりました。損益につきましては、営業利益15百万円（前年同四半期比89.4%減）、経常利益7百万円（前年同四半期比94.6%減）及び四半期純利益3百万円（前年同四半期比97.6%減）となりました。

(2) 財政状態に関する説明

①資産・負債及び純資産の状況

(資産)

流動資産は、前事業年度末に比べて2.1%増加し、1,260百万円となりました。これは、受取手形及び売掛金が233百万円減少した一方、現金及び預金が192百万円、仕掛品が69百万円増加したことなどによります。

固定資産は、前事業年度末に比べて9.3%増加し、551百万円となりました。これは、有形固定資産が31百万円、無形固定資産が18百万円増加したことなどによります。

この結果、総資産は、前事業年度末に比べて4.2%増加し、1,811百万円となりました。

(負債)

流動負債は、前事業年度末に比べて6.4%増加し、639百万円となりました。これは、支払手形及び買掛金が41百万円、短期借入金が55百万円減少した一方、前受金が115百万円、1年内返済予定の長期借入金が26百万円増加したことなどによります。

固定負債は、前事業年度末に比べて11.1%増加し、311百万円となりました。これは、長期借入金が27百万円、退職給付引当金が5百万円増加したことなどによります。

この結果、負債合計は、前事業年度末に比べて7.9%増加し、951百万円となりました。

(純資産)

純資産合計は、前事業年度末に比べて0.4%増加し、859百万円となりました。これは、利益剰余金が3百万円増加したことによります。

②キャッシュ・フローの状況

当第2四半期累計期間における現金及び現金同等物（以下「資金」という）は、前事業年度末に比べ、194百万円増加し（前第2四半期累計期間は175百万円の増加）、418百万円となりました。

当第2四半期累計期間における各キャッシュ・フローの状況とそれらの要因は次のとおりであります。

(営業活動によるキャッシュ・フロー)

営業活動の結果獲得した資金は277百万円（前第2四半期累計期間に獲得した資金は292百万円）となりました。これは主に、たな卸資産の増加が60百万円あった一方で、売上債権の減少が233百万円、前受金の増加が115百万円あったことなどによります。

(投資活動によるキャッシュ・フロー)

投資活動の結果使用した資金は77百万円(前第2四半期累計期間に使用した資金は63百万円)となりました。これは、有形固定資産の取得による支出が39百万円、無形固定資産の取得による支出が40百万円あったことなどによります。

(財務活動によるキャッシュ・フロー)

財務活動の結果使用した資金は3百万円(前第2四半期累計期間に使用した資金は55百万円)となりました。これは長期借入れによる収入が100百万円あった一方、短期借入金の減少が55百万円、長期借入金の返済による支出が46百万円あったことなどによります。

(3) 業績予想などの将来予測情報に関する説明

業績予想につきましては、年間目標をおおむね計画どおりに推移しており、平成27年5月12日に発表いたしました業績予想に変更ありません。

2. サマリー情報(注記事項)に関する事項

(1) 四半期財務諸表の作成に特有の会計処理の適用

記載事項はありません。

(2) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

会計上の見積りの変更と区別することが困難な会計方針の変更

(有形固定資産の減価償却方法の変更)

当社は、有形固定資産(リース資産を除く)の減価償却の方法について、従来、定率法(ただし、平成10年4月1日以降取得した建物(建物附属設備を除く)については定額法)を採用しておりましたが、第1四半期会計期間より定額法に変更いたしました。

この変更は、近年、半導体市場が好況であり、当社製品の販売・受注も計画通りに推移し、収益構造が改善してきた環境のなか、2015年度からの中期経営計画の実行において、当社の事業課題である「複数製品の製造・販売による経営の安定化」を図るため、生産体制の見直しを行いました。

当該見直しの結果、今後の当社の生産は安定して推移し、固定資産の投資効果は耐用年数の期間にわたり平均的・安定的に発現することが見込まれます。

従って、使用可能期間にわたり均等に費用配分を行うことが、当社の有形固定資産の使用実態をより適切に反映できるとともに、収益と費用の対応関係が適正となり、当社の経営成績をより適切に反映できるものと判断し、第1四半期会計期間より有形固定資産の減価償却方法を定率法から定額法へ変更することにいたしました。

この変更による当第2四半期累計期間の損益に与える影響は軽微であります。

3. 継続企業の前提に関する重要事象等

該当事項はありません。

4. 四半期財務諸表
 (1) 四半期貸借対照表

(単位：千円)

	前事業年度 (平成27年3月31日)	当第2四半期会計期間 (平成27年9月30日)
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	254,013	446,985
受取手形及び売掛金	708,535	474,579
仕掛品	204,955	274,739
原材料	45,902	36,641
その他	20,633	27,209
流動資産合計	1,234,039	1,260,156
固定資産		
有形固定資産		
建設仮勘定	263,057	294,197
その他(純額)	106,134	106,316
有形固定資産合計	369,192	400,513
無形固定資産	83,087	101,290
投資その他の資産	51,862	49,306
固定資産合計	504,142	551,110
資産合計	1,738,181	1,811,267
負債の部		
流動負債		
支払手形及び買掛金	149,419	107,814
電子記録債務	58,063	60,548
短期借入金	160,000	105,000
1年内返済予定の長期借入金	69,078	95,352
未払法人税等	19,710	5,733
賞与引当金	10,075	10,321
製品保証引当金	22,645	27,738
その他	112,443	227,389
流動負債合計	601,435	639,899
固定負債		
長期借入金	169,262	196,593
退職給付引当金	92,808	98,527
その他	18,559	16,692
固定負債合計	280,630	311,812
負債合計	882,065	951,712
純資産の部		
株主資本		
資本金	692,361	692,361
資本剰余金	635,681	163,754
利益剰余金	△471,927	3,438
株主資本合計	856,116	859,554
純資産合計	856,116	859,554
負債純資産合計	1,738,181	1,811,267

(2) 四半期損益計算書

第2四半期累計期間

(単位：千円)

	前第2四半期累計期間 (自平成26年4月1日 至平成26年9月30日)	当第2四半期累計期間 (自平成27年4月1日 至平成27年9月30日)
売上高	905,130	494,332
売上原価	512,335	276,023
売上総利益	392,794	218,308
販売費及び一般管理費		
役員報酬	18,900	18,600
給料及び手当	35,117	36,426
研究開発費	49,209	9,661
販売手数料	61,700	56,565
製品保証引当金繰入額	1,090	9,386
その他	80,554	72,107
販売費及び一般管理費合計	246,572	202,746
営業利益	146,222	15,562
営業外収益		
受取利息	64	60
為替差益	4,880	-
その他	21	61
営業外収益合計	4,966	122
営業外費用		
支払利息	2,829	1,777
為替差損	-	5,819
手形売却損	1,077	-
その他	328	148
営業外費用合計	4,235	7,745
経常利益	146,953	7,939
特別利益		
保険金収入	7,523	-
特別利益合計	7,523	-
特別損失		
固定資産除却損	-	765
特別損失合計	-	765
税引前四半期純利益	154,477	7,173
法人税、住民税及び事業税	10,808	3,735
四半期純利益	143,669	3,438

(3) 四半期キャッシュ・フロー計算書

(単位：千円)

	前第2四半期累計期間 (自平成26年4月1日 至平成26年9月30日)	当第2四半期累計期間 (自平成27年4月1日 至平成27年9月30日)
営業活動によるキャッシュ・フロー		
税引前四半期純利益	154,477	7,173
減価償却費	20,546	19,467
賞与引当金の増減額(△は減少)	1,025	246
製品保証引当金の増減額(△は減少)	△17,000	5,093
退職給付引当金の増減額(△は減少)	7,497	5,719
受取利息及び受取配当金	△64	△60
支払利息	2,829	1,777
為替差損益(△は益)	△5,090	5,540
保険金収入	△7,523	-
固定資産除却損	-	765
売上債権の増減額(△は増加)	△48,113	233,955
たな卸資産の増減額(△は増加)	233,009	△60,523
仕入債務の増減額(△は減少)	△60,206	△39,119
前受金の増減額(△は減少)	2,754	115,813
未収消費税等の増減額(△は増加)	△8,272	△6,546
未払消費税等の増減額(△は減少)	△12,424	△159
預り金の増減額(△は減少)	△255	△1,537
その他	33,054	8,629
小計	296,241	296,234
利息及び配当金の受取額	64	60
利息の支払額	△2,678	△1,924
災害による保険金の受取額	7,523	-
法人税等の支払額	△8,907	△16,833
営業活動によるキャッシュ・フロー	292,243	277,537
投資活動によるキャッシュ・フロー		
定期預金の預入による支出	△20,000	△8,000
定期預金の払戻による収入	-	10,001
有形固定資産の取得による支出	△533	△39,201
無形固定資産の取得による支出	△31,813	△40,586
投資有価証券の取得による支出	△1,276	-
敷金及び保証金の差入による支出	△9,940	-
投資活動によるキャッシュ・フロー	△63,563	△77,785
財務活動によるキャッシュ・フロー		
短期借入金の純増減額(△は減少)	△65,200	△55,000
長期借入れによる収入	50,000	100,000
長期借入金の返済による支出	△38,376	△46,395
リース債務の返済による支出	△1,770	△1,817
財務活動によるキャッシュ・フロー	△55,346	△3,212
現金及び現金同等物に係る換算差額	2,040	△1,564
現金及び現金同等物の増減額(△は減少)	175,374	194,973
現金及び現金同等物の期首残高	443,774	224,011
現金及び現金同等物の四半期末残高	619,149	418,985

(4) 四半期財務諸表に関する注記事項

(継続企業の前提に関する注記)

該当事項はありません。

(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)

該当事項はありません。